

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成25年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立青い鳥福祉センター 「青い鳥老人ホーム」	所管課	長寿社会課
所在地	笛吹市春日居町小松855 - 192	設置年月日 (改築年月日等)	昭和48年5月1日 (平成16年4月1日)
管理方式	指定管理者(社会福祉法人山梨ライトハウス、平成18年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立青い鳥福祉センター設置及び管理条例		
設置目的	居宅において養護をうけることが困難な高齢者のうち、主として視覚障害者の福祉に係る業務を総合的かつ有機的に行うため、山梨県立青い鳥福祉センター「青い鳥老人ホーム」を設置する。		
主な施設内容 (定員等)	居室(52室)、地域集会室・霊安室(127.50㎡)、食堂(94.5㎡)、厨房(53.4㎡)、事務所(52.5㎡)、静養室(18.8㎡)、医務室(12.4㎡)、1・2階寮母室(24.99㎡)、宿直室(9.72㎡)、面会室(16.5㎡)、男・女浴室(38.92㎡)、特別浴室(10.91㎡)、1・2階洗濯室(26.79㎡)、理容室(9.1㎡)、談話室(62.56㎡)		
主な業務内容	施設及び設備器具の維持保全に関する業務。 老人福祉法第20条の4の養護老人ホームに関する業務。 介護保険法第8条第11項の特定入居者生活介護を行う事業及び同法第8条の2第11項の介護予防特定施設入居者生活介護を行う事業に関する業務。		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	県内養護老人ホーム12ヶ所のうち峡東地区 (1)養護老人ホーム光珠荘:定員50人(笛吹市) (2)養護老人ホーム晴風園:定員75人(山梨市)
---------------------	--

3 利用状況

単位:人、%

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (目標値)
利用者数	施設入所利用者	599	594	570	
	利用者数合計	599	594	570	
	目標値	600	600	600	600
	目標値設定の考え方	(定員50名×12ヶ月)	(定員50名×12ヶ月)	(定員50名×12ヶ月)	(定員50名×12ヶ月)
	対23年度比	100.0%	99.2%	95.2%	100.2%
稼働率		99.8%	99.0%	95.0%	100.0%

4 収支状況

単位:円、%

		平成24年度	平成25年度 (計画値)	平成25年度 (実績値)	平成26年度 (計画値)
収入	施設利用料	529,969	480,000	479,999	529,000
	指定管理者委託料	164,097,611	156,116,000	156,142,601	166,068,000
	その他	9,410,979	10,472,000	10,480,045	10,607,000
	収入合計(A)	174,038,559	167,068,000	167,102,645	177,204,000
支出	人件費	114,590,770	117,244,000	116,850,333	114,113,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	55,178,380	49,824,000	46,702,436	60,091,000
	(うち外部委託費)(B)	3,268,417	2,930,000	2,862,399	3,720,000
	支出合計(C)	169,769,150	167,068,000	163,552,769	174,204,000
収支差額(A - C)		4,269,409	0	3,549,876	3,000,000
外部委託比率(B ÷ C)		1.9%	1.8%	1.8%	2.1%
利用者一人当りの経費		276,259	260,193	273,934	276,780

5 利用者満足度

実施方法等	設備・入浴・健康管理は平成25年12月24日～平成26年1月31日.実施方法:相談員,支援員が利用者の居室で面接調査を行う。食事は第1回目平成25年8月30日～9月11日、回答者50名、第2回目H26年2月7日～2月21日、回答者46名、実施方法:栄養士が利用者の居室にて行う。
-------	---

単位: %

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
施設の設備について	70.0%	2.0%	14.0%	14.0%
行事等	72.0%	8.0%	2.0%	18.0%
食事	68.0%	8.0%	8.0%	16.0%
入浴	70.0%	2.0%	14.0%	14.0%
健康管理	76.0%	6.0%	4.0%	14.0%
利用者のケア	72.0%	4.0%	10.0%	14.0%
金銭管理	84.0%	0.0%	2.0%	14.0%
その他	68.0%	0.0%	18.0%	14.0%
各項目の平均	72.5%	3.8%	9.0%	14.8%

利用者の意見	週3回入浴できて嬉しい。 2階の屋上出口に網戸をつけて欲しい。 「ごちそうさま」の声掛けをもう少し遅くしてもらいたい。
利用者の意見への対応	今後も皆さんに気持ち良く入浴していただけるように努力します。 来年度設置する予定です。 食事時間の長さについては、今後検討していきます。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	法令・事業計画等に基づき適正に業務を執行した。	事業計画に沿った業務が実施されている。
運營業務	事業計画等に基づき、適正に業務を執行した。	事業報告書及び現地確認の結果、適正に実施されている。
自主事業	各種の行事については行事計画表のとおり、実施出来た。利用者は多くの事業に参加されていた。 ショートステイ事業については、利用促進に努め適正に事業を実施している。	各種行事については、行事計画表のとおり実施されている。 ショートステイ事業においても適正に業務が執行されているが、今後とも事業活用の一層の推進を図られたい。
利用状況	利用定員50人に対して、95%の利用率であった。 措置者(市町村)からの入所依頼を受け、被措置者の状況を確認する中で入所を決定している。	利用率の向上にむけて、市町村担当部署や視覚障害者関係団体との情報交換等に努めること。
収支状況	収入は利用率が減少したため、ほぼ5%の減であった。支出は経費削減に努めたが、人件費が増加したので全体的に微増となった。そのため将来に向けた施設維持等の積立はできなかった。	計画的な管理運営が図れていると評価できる。
利用者満足度	利用者の要望については、対応できるところは早急に改善等を行っている。何ごととも利用者の目線で、利用者の立場に立ったサービスの提供を行っているところであります。 これからも利用者の要望を伺いながら、より一層のサービスの向上に努めて参りたい。なお、できるだけ多くの利用者の声を集めるよう、詳細な聞き取りを行った。	昨年度の結果と比較すると、「満足・十分」と回答する率が上がっている一方で、「不明・わからない」との回答も依然として高い率を占める。 今後の課題として、調査の実施方法を検証・精査し、多くの利用者の声を集められるよう工夫し、一層のサービス向上に努めること。
運営目標の達成状況	利用者が自立心を損なうことなく、平穏な生活が送れるよう生活環境を整備し、生きがいの持てる健全で明るい老後を送れるよう、利用者の目線で利用者の立場に立って支援の充実に努めた。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	概ね事業計画どおりに業務が実施されている。 経営状況についても、概ね計画的かつ適正に運営されている。 今後も利用者からの要望をできるだけ取り入れるよう対応すること。 ショートステイ事業については、今後一層積極的な推進を図ること。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	施設所管課の評価及び指導事項を踏まえ、今後とも事業の運営に際する一層の充実に企図して参りたい。 経営状況については、経費等の見直しを重ねるなど節約に努め、更なる適正化に努めて参りたい。 利用者から挙げられた要望については、個々のニーズに誠実に耳を傾けて参りたい。 ショートステイ事業の活用に関しては、今後とも市町村長に対する文書での依頼とともに、視覚障害者団体等にもPRして参りたい。	

7 管理体制(組織図)

